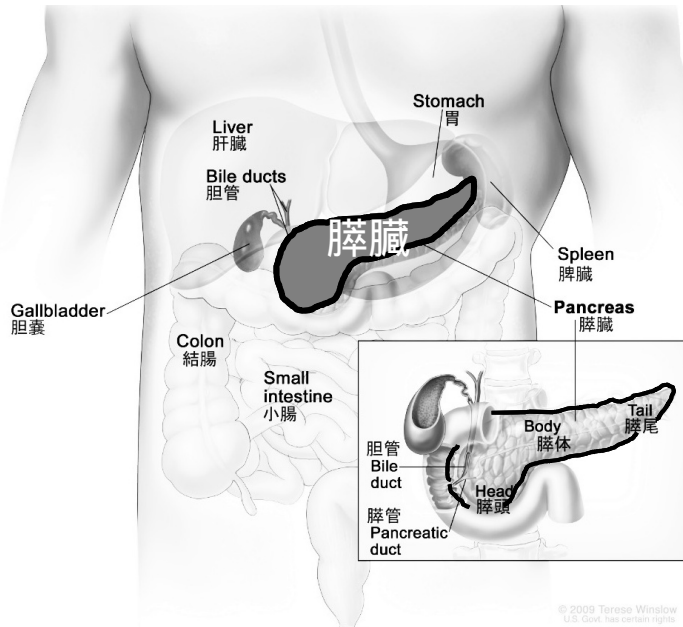


すい 膵がん早期診断プロジェクト

なぜ、いま膵がんに着目するのか？



膵臓の解剖と位置関係

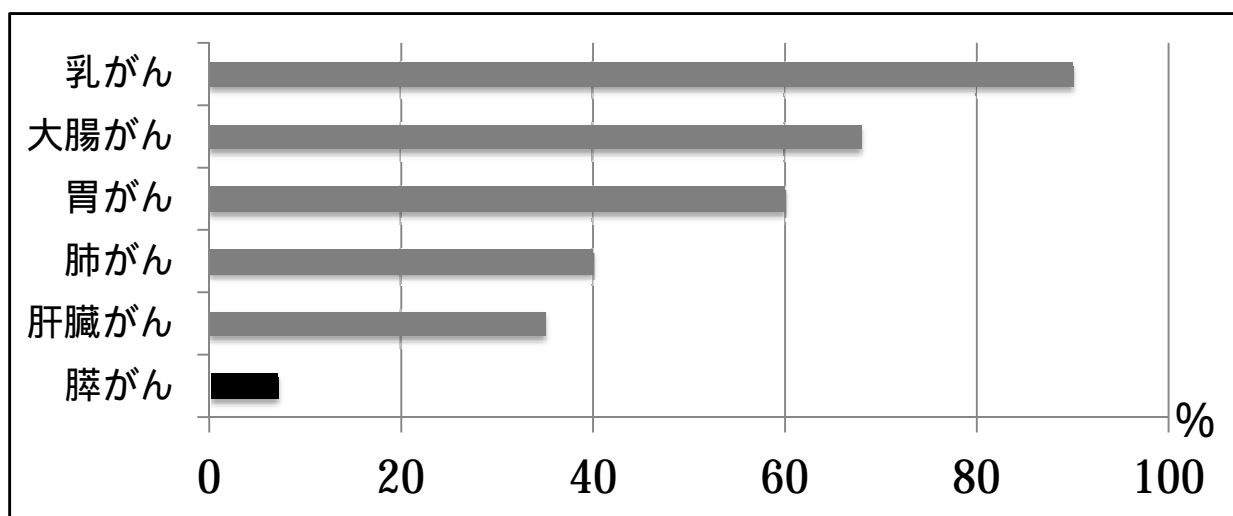
膵臓は食事を分解する消化酵素液をだす臓器です。

膵臓から発生する膵がんは、他のがんくらべ 早期発見がとても難しく、5年生存率(診断から5年経過後に生存している患者さんの比率)がよくありません。

5年生存率を上げるために “手術可能な小さな膵がんをいかに早期に見つけるか”がとても重要で、日頃から定期的な採血検査や画像検査をしておく必要があります。

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
男女合計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

人口動態統計によるがん死亡データ



5大がん膵臓がんの5年生存率

すい 小さな膵がんを見逃さないために

医師会は膵がん早期診断プロジェクトを開始しました

かかりつけ医



連携病院



帯広協会病院
北斗病院
帯広第一病院
帯広厚生病院
清水赤十字病院

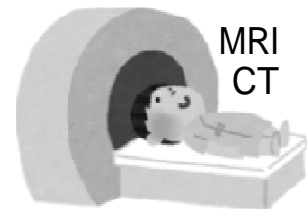
紹介
相談

地域連携パス
の活用

連携
共有



エコー検査



MRI
CT

超音波内視鏡



十勝医療圏における膵がんの予後向上を目指した積極的な取り組みを行っておりますので、気になる症状があれば遠慮なくかかりつけ医に相談してください。連携病院と協力して画像検査や血液検査を実施します。

遠慮なく皆様方の先生に御相談ください

北海道では北海道がん対策推進条例第10条で、がんの早期発見を推進しています

北海道帯広保健所

帯広市医師会・十勝医師会

【問合せ】帯広市医師会 帯広市東3条南11丁目2 0155-24-2802